

## 善能寺古墳群1区(坂戸市)

ここが善能寺古墳群1区の発掘調査現場/5世紀後半頃から7世紀の古墳が7基発掘されたらしい/南東側から見たところ



北東側から見たところ



ここを進んでみよう/東側から西方向を見たところ



北側から南方向を見たところ



一番奥(西側のエリア)の様子



そこから南東方向を見たところ/正面の木々の中には善能寺金毘羅神社古墳(善能寺1号墳)が所在する



さて、これは南側を東側から西方向を見たところ/右手前に何やら高まりが残っている



これがその高まり/これは7世紀代に築造された方墳ではという10号墳なのか





その少し奥(西側)にもこんな高まりが残されている



さらに西方向に進む/発掘調査関係者のテントが立っている



一番奥(西側のエリア)の様子/正面のブルーシートの辺りは円墳の12号墳なのか



そこから東方向を見たところ



9

善能寺古墳群1区

ぜんのうじこふんぐん

## 調査区

坂戸市大字善能寺字桜木

## 調査期間

平成25年5月13日～10月7日

## 調査原因

宅地造成工事

## 確認された遺構と年代

古墳—7基（古墳時代中期・終末期）

火葬遺構—1基（中世）

井戸—2基（中世）

土坑—5基（時期不明）

溝—2条（中世以降） ピット—16基（時期不明）



9. 善能寺古墳群1区

善能寺古墳群は、坂戸市の北西部、毛呂山町との境に位置する古墳群で、これまでに9基の円墳が確認されています。

今回の調査区では、古墳時代中期（5世紀後半頃）と終末期（7世紀）の古墳が7基密集して発見されたほか、中世の火葬遺構なども検出されました。

7世紀代に築造された10号墳は、方墳の可能性が考えられ、墳丘も高さ約1m残っ

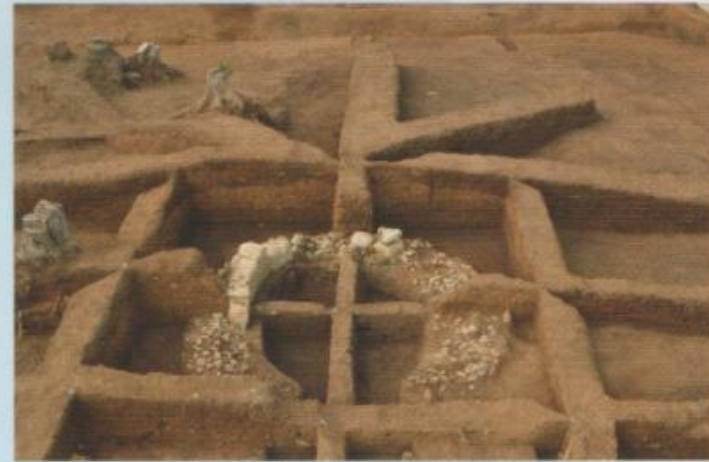
ていました。また、横穴式石室には加工が容易な凝灰質砂岩が使用されています。

円墳の12号墳からは、周溝の中から大量の円筒埴輪をはじめ、土師器坏や壺が出土しました。円筒埴輪は、20個体近く発見され形態や技法の特徴から、5世紀中頃に製作された可能性が考えられます。

この埴輪は、坂戸市内で最古の埴輪となり、重要な発見となりました。



調査区全景



10号墳横穴式石室と墳丘



12号墳全景



12号墳埴輪出土状況



埋文さかど年報/平成25年度発掘調査 より